



南部教育事務所便り「南の風」

令和7年7月24日 南部教育事務所 第3号



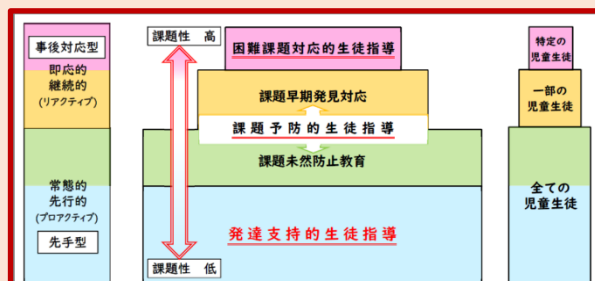
令和7年度小・中・高等・特別支援学校生徒指導主事等連絡協議会

北諸県地区では6月24日（火）、西諸県地区では26日（木）に、各学校の生徒指導主事、教育相談強化支援教員、中途退学対策対応教員等を対象として、令和7年度小・中・高等・特別支援学校生徒指導主事等連絡協議会を行いました。前半は、人権同和・生徒指導課より「本県における生徒指導の現状と課題について」、「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーについて」、宮崎県警察本部より「本県における少年問題の現状をふまえ」の説明がありました。また、南部教育事務所管内のスクールソーシャルワーカーの紹介を行いました。

講義・演習では、「発達支持的生徒指導を意識した組織的な取組について」というテーマで、異校種の先生方と、児童生徒の様子をイメージし、具体的な声かけや手立てを各グループで考えました。発達支持的生徒指導とは、「特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に学校教育の目標の実現に向けて教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるものです。」生徒指導の実践上の4つの視点（①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の育成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成）を意識しながら、活発な意見交換が行われました。学校での職員研修等でぜひ参考にいただければと思います。



【北諸県地区会場の様子】



【西諸県地区会場の様子】

エリアサポート体制 ～第1回エリア研修（専門性向上研修）～

標記研修会について、西諸県エリアは7月1日（火）に小林中央公民館にて、都城北諸県エリアは7月3日（木）にKUROKIRI STADIUM（宮崎県山之内陸上競技場）にて、それぞれ開催しました。

今回のエリア研修は、幼・保・こども園から小・中・高等学校までの特別支援教育に関係する先生方（特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任等）に参加していただき、それぞれのエリアの実態やニーズに応じて、講義や協議、意見交換会が行われました。



西諸県 エリア

講義「園内・校内指導支援体制づくり」
意見交換（相談会）「つなぐ支援、広がる実践」

講義では、小林中央保育所や飯野高等学校の実践等を紹介しました。基礎的環境整備や支援の工夫について参考になったのではないのでしょうか。

意見交換（相談会）は、「コーディネーターの動き」「通級による指導」「自立活動」「進路指導等」の4つのブースに分かれ、個々の課題解決のために意見を交わしました。



都城北諸県 エリア

講義「本エリアにおける現状や課題」
協議「指導支援体制等の実際」

講義では、高等学校における通級指導や保育所等訪問、校内支援体制の工夫について説明しました。

協議では、支援を行う上での課題や自分にできること等について話し合いました。互いの悩みや実践を共有したり、エリアサポート担当の先生方に相談したりしながら、支援の在り方について考えました。



教職員一人一人の専門性向上と、チームで支援する組織的な対応・取組が求められています。園内・校内の指導支援体制の構築に加え、学校間や保護者、関係機関等との連携により、子供たちの支援をつないでいくことが重要です。

～そのために、**エリア巡回支援**や**校内エリア研修**も積極的に御活用ください。校内エリア研修パッケージは、7月31日より下記HPよりダウンロードできます。

南部教育事務所のホームページにおいても、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521

